

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	10	課題区分	C	令和7年3月31日	
横断的な課題	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組					松本地域振興局	
地域重点政策	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組						
実施機関	松本農業農村支援センター			担当課	所属	技術経営普及課	
事業名	持続可能な農畜産物生産の推進事業			担当課	電話	40-1947	
					E-mail	<a href="mailto:matsumoto-nogvo@pref.nagano.lg.jp">matsumoto-nogvo@pref.nagano.lg.jp</a>	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	スマート農業機器や乗用除草機による省力化や、地力を考慮した土づくりの実践及び管内畜産堆肥等の利用により生産コスト・環境負荷の低減を図り、持続可能な農業生産体制の構築を目指す。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>肥料等の価格高騰により生産者の経営が圧迫されており、肥料施用量の削減や堆肥等の代替資材の活用による生産コストの低減が必要となっている。</li> <li>担い手や雇用人材等の不足や、気候変動等による収量減少・品質低下などの影響が顕在化している。このため、生産性の向上・省力化に繋がるスマート農業技術や、環境負荷軽減技術の普及を図ることにより、持続可能な農業生産体制の構築が必要となっている。</li> </ul>					
	内容 (変更後の内容)	<ol style="list-style-type: none"> <li>機械除草技術の確立と導入推進 近年開発された水田の高性能乗用除草機や自動除草ロボットによる機械除草の可能性を、稲作経営者が体感する場としての実演会を開催</li> <li>輪作体系における水田の地力を考慮した土づくり ほ場の地力を考慮した土づくり試験の実施や有機質肥料の活用推進に向けた研修会の開催等</li> <li>有機栽培先進事例の収集と共有 農業試験場と連携した先進事例の収集</li> </ol>					
	事業期間	令和6年6月		～	令和7年2月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	機械除草技術実演会	乗用除草機や自動除草ロボットの説明及び実演	25,542	【講師報償費】 @3,150円×3時間=9,450円 【講師旅費】 (大町市～安曇野市) 2,092円 【水田除草機使用料】 @4,000円/10a×35a=14,000円			
	輪作体系における水田の地力を考慮した土づくり	ほ場の地力を考慮した土づくり試験の実施や有機質肥料の活用推進に向けた研修会の開催等	21,450	【需用費】 地力バクテスト @4,290円×5箱=21,450円			
	合計		46,992				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	新たな乗用除草機、スマート農業除草機の利用面積		100a	120a	● 達成		
	地力窒素を分析し施肥の検討を行う経営体		2経営体	3経営体	○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	<p>6/18 に実演会を開催。生産者、JA、市村等から約70名ほどの参加者があり大変盛況で、実演後もメーカー担当者と熱心に意見交換する生産者の姿が見られ、12/18に生産者、試験場、メーカー、センターで成績検討会を開催した。また2/25に水稲有機栽培に取り組む生産者や若手グループに呼び掛けて成績報告会を開催した。</p> <p>6～9月に試験場と雑草調査等を実施した。その結果除草ロボットと乗用除草機を組みわせることで、利用目標面積及び、幼穂形成期の雑草量目標の50g/m<sup>2</sup>を概ねクリアすることができた。</p> <p>水稲・麦・大豆で輪作体系に取組むほ場において、輪作による地力窒素(以下、可給態窒素)の動向把握及び、地域の畜産堆肥を活用した土づくり技術の確立に向けて実証ほを設置した。</p> <p>活動対象となる安曇野.comeのメンバーへは個別巡回や定例会時に随時、情報提供を行い、ほ場の土づくりについて伴走支援を行った。その結果、可給態窒素の数値を考慮してほ場へ有機物施用を実施するようになった経営体や目の前の品目だけではなく、1年後や2年後を見越して土づくりを実施する経営体を3経営体育成することができた。</p>						
今後の方向性	新たな乗用除草機・スマート農業除草機の利用面積拡大や地力窒素の分析に基づいた施肥を行う経営体の育成を進め、持続可能な農畜産物の生産を推進していく。						